
IBM T220 フラットパネルモニタ (IBM 9503) 追加情報

本書は、IBM T220 フラットパネルモニタ（以下、T220と呼びます）のディスプレイドライバをご使用になる際に必要な追加情報を記載しています。

追加情報

T220用ディスプレイドライバのご使用にあたって

ここでは、T220のディスプレイドライバをご使用になる際に必要となります次の項目について説明します。

- はじめに
- Windows® multi monitor systemについて
- IntelliStation™ M Pro 6849 (Pentium® 4) でT220をご使用になる場合について
- 他のビデオ・アダプターカードまたはマザー・ボード上のビデオ・チップとT220用Matroxビデオ・グラフィクスカードを同じシステム上で使用する場合
- T220用ディスプレイドライバ バージョン5.60.006の使用上の制限事項
- 204 ppi 解像度ディスプレイのためのWindows 2000の推奨設定

はじめに

- 本製品に付属のMatrox® ビデオ・グラフィクスカードは、T220用に特別に設計されていますので、市販されているMatrox G200 MMS™ カードとは異なります。必ず本製品に付属するMatroxビデオ・グラフィクスカードをご使用ください。
- T220用ディスプレイドライバは、T220 フラットパネルモニタ用に特別に設計されていますので、本製品に付属する「セットアップCD-ROM」に収録されているものをご使用ください。または、IBMのWebサイトからT220用ディスプレイドライバをダウンロードしてご使用ください。
- Matroxビデオ・カードBIOSは、T220用に特別に設計されて、ビデオ・グラフィクスカード上のフラッシュROMにストアされていますが、もしアップグレードが必要な場合は、IBMのWebサイトからT220用のビデオ・カードBIOSをダウンロードしてご使用ください。
- 工場出荷時のT220用ディスプレイドライバのバージョンは、5.60.006またはそれ以上です。T220用ディスプレイドライバのバージョン番号の確認方法は、次のとおりです。

1. デスクトップ上でマウスを右クリックして「プロパティ」を選択し、『画面のプロパティ』ウィンドウを表示します。（『画面のプロパティ』ウィンドウは、「スタート」「設定」「コントロールパネル」「画面」の順に選択しても表示できます。）
2. 「設定」タブ「詳細」「インフォメーション」の順にクリックして、「**Matrox driver package**」の「バージョン」を確認します。

また、最新レベルのT220用ディスプレイドライバと、そのバージョン番号は、下記のURLにアクセスすることで確認することができます。

<http://www.pc.ibm.com/support>

3. 工場出荷時のMatroxビデオ・カードBIOSのバージョンは、3.3GC-34またはそれ以上です。手順2の『インフォメーション』ウィンドウではバージョン番号の一部分が**3.3-34.**と表示されますが、将来ビデオ・カードBIOSをアップグレードする必要がある場合には、バージョン番号の確認方法も合わせてIBMのWebサイトでお知らせいたします。
4. T220用ディスプレイドライバを正しく導入するには、*IBM T220 フラットパネルモニタ ユーザーズ・ガイド*の『モニタのセットアップ』を参照してください。万一、導入がうまくいかなかった場合は、*ユーザーズ・ガイド*の手順に従って最初から導入し直してください。

Windows multi monitor systemについて

- 1 Windowsのデスクトップ全画面は、4つの小さなストライプ状（縦長の長方形）のパーティション（区画）の集合体として構成されています。デスクトップ全画面を正しく作動させるには、4つのパーティションに対して画面や色などの属性を同じように定義する必要があります。
- 2 万一、いずれかのパーティションがうまく表示されない、または同期が取れない場合は、T220をVGAモードにしてWindows 2000を再起動します。
『画面のプロパティ』ウィンドウから「設定」タブを選択して、次の項目を確認してください。
 - 各パーティションの「画面の領域」が **960 × 2400** ピクセル に設定されている。
 - 各パーティションの「色」が **True Color (24ビット)** に設定されている。
 - 各パーティションの「**Windows**デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」にチェックが付いている。
 - 一番左のパーティション（パーティション番号1）に「このデバイスをプライマリ・モニタにして使用する」にチェックが付いている。
- 3 Windowsのタスクバーは、通常一番左のパーティションの1つにのみ現れます。（このことをプライマリー・モニタと呼びます。）
- 4 Windows画面の最大化は1つのパーティションに対してのみ有効で、Microsoft® PowerPoint®のスライドショー、またはLotus™ Freelance™のスクリーンショーなどについても最大化は1つのパーティションに対してのみ有効です。ウィンドウを他の3つのパーティションの上に拡大するには、マウスでウィンドウのフレームをドラッグすることで拡大できます。
- 5 動画アプリケーション（OpenGLのスクリーン・セーバーなど）によっては、パーティション間の境界線が見えることがあります。

IntelliStation M Pro 6849 (Pentium 4) でT220をご使用になる場合について

注: IntelliStation M Pro 6849 Pentium 4 (以下IntelliStationと呼びます) でT220をご使用になるまえに、*IBM T220 フラットパネルモニタ ユーザーズ・ガイド*の『安全に正しくお使いいただくために』を必ずお読みください。

- 1 IntelliStationのBIOSセットアップ・ユーティリティーは、システム起動時のIBMロゴ画面とBIOSセットアップ画面がシステムと同期が取れないため、T220との組み合わせでは使用できません。この問題は、IntelliStationのシステムBIOSを変更することで解決できますが、一次的にIntelliStationのBIOSセットアップ・ユーティリティーを使用する場合は、次の手順に従ってください。
 - a) IntelliStationの電源を切ります。
 - b) 電源コード、LANケーブル、およびIntelliStationに接続されているモニタのケーブルを取り外します。
 - c) T220に付属するMatroxビデオ・グラフィクスカードがPCIスロットに挿入されていないことを確認してください。
 - d) IntelliStationの標準ビデオ・アダプターカードをAGPスロットに挿入してください。
 - e) 標準ビデオ・アダプターカードに標準モニタを接続します。
 - f) 電源コードを接続して、IntelliStationおよび標準モニタの電源を入れます。
 - g) IBMロゴ画面が表示されたときに **[F1]** キーを押して、BIOSセットアップ・ユーティリティーに入ります。
 - h) 必要な変更を行ったあとで設定を保存して、BIOS セットアップ・ユーティリティーを終了します。
 - i) IntelliStationの電源を切り、電源コードおよびIntelliStationに接続されているすべてのケーブルを取り外します。
 - j) 接続されている標準モニタを取り外します。
 - k) IntelliStationの標準ビデオ・アダプターカードを取り外します。
 - l) T220用Matroxビデオ・グラフィクスカードをPCIスロットに挿入します。(このあとの導入手順については、*IBM T220 フラットパネルモニタ ユーザーズ・ガイド*を参照してください。)
- 2 『画面のプロパティ』ウィンドウでWindowsデスクトップの「画面の色」を設定し、「適用」または「OK」を選択したあと、画面が約30秒から60秒間真っ黒になりシステムが一見ハングアップしたように見えますが、正常に復帰しますので、このあいだはお待ちください。
- 3 コマンド・プロンプトのモードを全画面表示からWindows画面表示に変えた場合、画面が約30秒間真っ黒になりシステムが一見ハングアップしたように見えますが、正常に復帰しますので、このあいだはお待ちください。

他のビデオ・アダプターカードまたはマザー・ボード上のビデオ・チップとT220用Matroxビデオ・グラフィクスカードを同じシステム上で使用する場合

他のビデオ・アダプターカードに接続されたモニタはパーティション1として表示され、T220はパーティション2、3、4、および5として表示されます。

このような場合は、T220の一番左のパーティションをプライマリー・モニタとして使用することを強くお勧めします。もし他のビデオ・アダプターカードに接続されたモニタがすでにプライマリー・モニタとして使用されていると、次のような現象が生じます。

- Windowsのデスクトップ上のアイコンが表示されない。
- Windowsタスクバーが表示されない。
- 『画面のプロパティ』ウィンドウが表示されない。

通常、他のモニタはWindowsのデスクトップを使用する必要がありません。Windowsのデスクトップを使用しないようにするには次の手順を行ってください。

1. 『画面のプロパティ』ウィンドウの「設定」タブを開きます。
2. T220の一番左のパーティションを選択します。
3. 「このデバイスをプライマリ・モニタにして使用する」にチェックを付けます。

4. マザー・ボード上のビデオ・チップまたは他のビデオ・アダプターのパーティションを選択します。
5. 「Windowsデスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする」のチェックを外します。

T220用ディスプレイドライバが正しく導入されなかった場合は、システムが「Windowsを起動しています・・・」のWindows起動画面で一見ハングアップしたように見えますが、Windowsのデスクトップ画面は他のパーティションに表示されます。この場合は、T220をVGAモードにしてWindows 2000を再起動し、2ページの『Windows multi monitor systemについて』の手順 2 に記述している項目を確認してください。

T220用ディスプレイドライバ バージョン5.60.006の使用上の制限事項

- 『画面のプロパティ』ウィンドウの「設定」タブにある「カラー パレット」を256色に設定した場合、Windows デスクトップ上に開いたウィンドウをドラッグしたときに、背景に画面ノイズのフラッシュが見えることがあります。
- 『画面のプロパティ』ウィンドウのカラーパネル上の色温度と、コントラスト・スケールに対する数値表示は表示されません。
- 『画面のプロパティ』ウィンドウの「設定」タブ 「詳細」 「オプション」の中にある「マウス・ポインタを拡大する」機能は使用できません。マウス・ポインタの拡大について詳しくは、『204 ppi 解像度ディスプレイのためのWindows 2000の推奨設定』の手順 2 を参照してください。
- 『画面のプロパティ』ウィンドウのカラー・マネジメントで、ICCプロファイルを設定して再起動すると、プロファイルに定義されたとおりに画面が色変換されて正しく表示されますが、『画面のプロパティ』ウィンドウの「カラー」タブをクリックすると元の画面の色に戻ります。

204 ppi 解像度ディスプレイのためのWindows 2000の推奨設定

注: この推奨設定値は、一般的な参考値であり、使用環境、個人の好みにも左右される性質のもです。また、この設定方法を行っても、ある種のアプリケーション・プログラムまたはシステムでは、拡大または縮小（スケーリング）が適切にされない場合があります。なお、Windows 2000のGUI (Graphical User Interface) のスケーリング機能についての詳しい情報は、マイクロ・ソフト社のWebサイトから入手できます。

1 システム・フォントの拡大

- a) デスクトップ上でマウスを右クリックして「プロパティ」を選択し、『画面のプロパティ』ウィンドウを表示します。（『画面のプロパティ』ウィンドウは、「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「画面」の順に選択しても、表示できます。）
- b) 「設定」タブをクリックし、パーティション1の画面を選択します。
- c) 「詳細」 「全般」 「フォント・サイズ」 「その他」の順に選択します。

注: このとき、「その他」が省略時値としてすでに選択されている場合は、再度「その他」を選択します。

- d) 『フォントサイズ変更』ウィンドウが表示されるので、ルーラーをドラッグしてフォント・パーセンテージの数値を **213%** に設定します。
- e) 設定を有効にするためにシステムを再起動する必要があります。「OK」をクリックしてシステムを再起動してください。

2 マウス・ポインター・サイズの拡大

- a) 「スタート」 「設定」 「コントロール・パネル」 「マウス」の順に選択し、『マウスのプロパティ』ウィンドウを表示します。
- b) 「ポインタ」タブ 「デザイン」 「拡大ポインタ」の順に選択し、「OK」をクリックします。

3 システム・フォントおよびマウス・ポインター以外の表示サイズの変更

- a) 『画面のプロパティ』ウィンドウを表示して、「デザイン」を選択します。

b) 下表を参照して、変更したい表示サイズの設定を変更します。

指定する部分	サイズ	フォントサイズ	フォント
アクティブタイトルバー	31	8	MS UI Gothic
アクティブウィンドウの境界	4		
タイトルのボタン	31		
アイコン	50	8	MS UI Gothic
アイコンの間隔（縦）	95		
アイコンの間隔（横）	95		
非アクティブタイトルバー	31	8	MS UI Gothic
非アクティブウィンドウの境界	4		
メニュー	31	8	MS UI Gothic
メッセージボックス		8	MS UI Gothic
パレットタイトル	31	8	MS UI Gothic
スクロールバー	24		
選択項目	31	8	MS UI Gothic
ヒント		8	MS UI Gothic

c) アプリケーション上のアイコン・サイズの変更

Microsoft Office、Lotus Suiteなどのアプリケーション・ソフトウェアでは、お客様の選択に応じてアイコン・サイズを変更できます。必要に応じて拡大されたアイコンを選択してください。

商標

IBM、IBMロゴは、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

"Microsoft""Windows"および"PowerPoint"は、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Lotus, Freelanceは、Lotus Development Corporationの米国およびその他の国における商標です。

"IntelliStation""Pentium"は、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

MatroxおよびMatrox MMSは、Matrox Electronic Systems Ltd.（またはMatrox Graphics Inc.）の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>